

氏名 (法人にあっては名称)	パナソニック株式会社
住所	大阪府門真市大字門真1006番地

自社等発電所(*1)の有無	無		
電気事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・弊社は、2005年6月より特定規模電気事業を開始し、主に自社グループの工場やオフィスビルへの電力供給を行っています。 ・また、2016年1月には小売電気事業の登録を完了しました。(登録番号A0136) 		
電気の供給における温室効果ガスの排出状況	年度	実二酸化炭素排出量	把握率
	前年度実績(2020年度)	0.475 (千t-CO ₂)	79.28 (%)
電気の供給における温室効果ガスの排出量の抑制に関する措置の実施状況	年度	実排出係数(*2)	調整後排出係数(*3)
	前年度目標(2020年度)	0.280 (kg-CO ₂ /kWh)	0.526 (kg-CO ₂ /kWh)
	前年度実績(2020年度)	0.442 (kg-CO ₂ /kWh)	0.525 (kg-CO ₂ /kWh)
	(措置の実施状況)		
以下の取組みにより、CO ₂ 排出係数の低減に向けた努力を継続しております。			
①より環境負荷の低い化石燃料により発電された電力の調達促進 (例; 石炭火力 → LNG火力)			
②再生可能エネルギーによる電力の調達促進 (バイオマス、太陽光)			

*1 自社等発電所とは、自己が所有する発電所及び経営支配下においている子会社が所有する発電所をいう。
 *2 実排出係数とは、市内への電気の供給に伴う二酸化炭素排出量(実二酸化炭素排出量)を市内への電気の供給量(電気供給量)で除したものをいう。
 *3 調整後排出係数とは、実二酸化炭素排出量から償却前移転した京都メカニズムクレジット等を控除したものを、電気供給量で除したものをいう。

電気の供給における再生可能エネルギーの利用の拡大に関する措置の実施状況	自社等発電所における再生可能エネルギーによる発電量の割合の拡大に関する措置の実施状況		
	年 度	再生可能エネルギー発電量(*4)	再生可能エネルギー導入率(*5)
	前年度目標 (2020年度)	0 (千kWh)	0.00 (%)
	前年度実績 (2020年度)	0 (千kWh)	0.00 (%)
	(措置の実施状況)		
電気の供給における再生可能エネルギーの利用の拡大に関する措置の実施状況	調達分を含む再生可能エネルギーの環境価値の確保量の割合の拡大に関する措置の実施状況		
	年 度	環境価値の確保量(*6)	環境価値の確保率(*7)
	前年度目標 (2020年度)	0 (千kWh)	0.00 (%)
	前年度実績 (2020年度)	0 (千kWh)	0.00 (%)
	(措置の実施状況)		
電気の供給における未利用エネルギー(*8)による発電量の割合の拡大に関する措置の実施状況	・未利用エネルギーの導入実績なし		
	・自社火力発電所なし		
本市の区域内に存する電気の需用者に対する地球温暖化の防止に資する取組の実施状況	・30分毎の電気使用実績を各需要者に提供しております。 ・関係省庁および広島市の環境関連政策に関する情報収集に努め、需要者に提供しました。		
その他の地球温暖化の防止に貢献する取組の実施状況	・電気使用量、紙使用量、廃棄物の削減と再生化率の向上に努めております。		

*4 再生可能エネルギー発電量とは、自社等発電所における再生可能エネルギー（太陽光、風力その他非化石エネルギーのうち、エネルギーとして永続的に使用することができるもの）による発電量のうち市内分をいう。

*5 再生可能エネルギー導入率とは、上記の発電量を自社等発電所における発電量のうち市内分で除したものをいう。

*6 環境価値の確保量とは、自社等発電所における再生可能エネルギーによる発電量、他の一般電気事業者等の発電所における再生可能エネルギーによって発電された電気の購入量及び購入した環境価値の量を合算したもののうち市内分をいう。

*7 環境価値の確保率とは、上記の確保量を電気の供給量のうち市内分で除したものをいう。

*8 未利用エネルギーとは、発電に利用するエネルギーのうち、工場の廃熱又は排圧、廃棄物（バイオマスを除く）の燃焼熱、超高圧地中送電線からの廃熱、変電所の廃熱及び高炉ガスその他の副生ガス等のエネルギーをいう。